

令和 5 年度 赤穂市民病院 活動報告

令和 5 年 7 月 1 日

○赤穂市について

- ・人口約 45000 人
- ・赤穂市の高齢化率は、全国・県と比べて高く、H27 年から R2 年にかけての伸び率も、全国と県を上回る。令和 5 年 2 月時点で、高齢化率は 34.5%と県内 21 位。

○赤穂市民病院について

- ・病床数：一般病床 356 床・感染症病床 4 計 360 床、コロナ病床 12 床
- ・派遣医師数 初期研修：1 年目・2 年目 3 名ずつ 計 6/13 名
前期派遣 1 年目：内科系 1 名
(内科系ローテーション：呼吸器科・消化器内科・循環器科・内科)
前期派遣 2 年目：内科 1 名、整形外科 1 名
前期派遣 3 年目・後期派遣：循環器科 1 名ずつ
院内常勤医師の約 1/5(12/62 名 19%)が県養成医

・診療科

常勤医師在中：**内科、呼吸器科、消化器内科、循環器科**、小児科、消化器外科、**整形外科**、泌尿器科、脳神経外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、救急科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科（太字は 2023 年度に県養成医師がローテーションする科）

非常勤のみ：眼科、産婦人科、形成外科、精神科、心療内科、乳腺外科、神経内科、血液内科、リウマチ膠原病科、病理診断科

- ・外来・入院患者の平均年齢：外来 66.0 歳、入院 71.1 歳
- ・医療圏：西播磨+岡山県南東部（人口約 15 万人）

赤穂市内には、当院・当院から医師を派遣している診療所 3 か所を含め、計 39 の医療機関が存在する。当院は中でも急性期疾患を含め中核的な役割を果たしているが、当院でも完結できない疾患の場合は加古川や姫路などの病院、大学病院へ紹介している。

○各科について

- ・内科：4 年目 1 名+10 年目 1 名（義務年限終了後） 透析関連業務・腎疾患・糖尿病・感染症などをメインに診療 当直 月 3-4 回・オンコール 月 8 回 担当人数 7-12 人程度
通常の内科外来に加えて、診療所・訪問診療業務も行っている
- ・循環器内科：5 年目・8 年目 1 名ずつ カテーテル検査・治療、外来、エコー・CPX・RI など各種検査業務 当直 月 3-4 回・オンコール 月 8 回（当直を含め）、外来 週 1 回
- ・呼吸器内科：3 年目 1 名 病棟業務中心だが気管支鏡検査・CT ガイド下生検・手術もあ

る 呼吸器疾患を幅広く経験できる

・整形外科：4年目1名 外来・手術・救急車対応がメイン オンコール月10回 一般外傷に加え人工関節置換術も経験できる 外来は週2回

○地域医療活動・特徴

<院内>

- ・救急勉強会での講義：看護師や救急隊対象
- ・院内勉強会での講義：看護師対象 ニーズに合わせた議題で

<院外>

- ・訪問診療：内科 週1回3-4件程度＋附属の診療所から隔週
気管カニューレ交換・呼吸器管理、在宅での胃瘻交換、ポート穿刺など処置が多い
- ・診療所：内科 月6回の外来診療＋小児を含む予防接種活動
- ・糖尿病療養チーム：糖尿病デイにあわせてショッピングセンターでのイベントが復活予定（COVID19の状況による）
- ・住民講和や交流はできていないものの、今後再開を検討予定

マンパワーや資源の不足も感じることもある中、できる限り地域で完結できるように心がけながら、急性期～亜急性期の地域医療を行っています。